

出雲市民病院実習プログラム

■実習スケジュール

0週目(前週) 佐野、白石からの開始前オリエンテーション					
曜日	時間	午前		午後	
		診療内容	時間	診療内容	時間
1週目	月曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-	訪問診療
		9:00-10:00	目標設定、オリエンテーション		病棟
		10:00-12:00	初診外来	16:30-17:00	振り返り
	火曜日	8:45-	医局朝礼	13:00-	レクチャー
		9:00-11:00	病棟、家庭医療科外来		病棟
		11:00-12:00	リハ回診	16:30-17:00	振り返り
	水曜日	8:45-	医局朝礼	13:30-14:00	病棟カンファレンス
9:00-11:00		家庭医療科外来	14:00-15:00	病棟	
11:00-12:00		リハ回診	15:00-	振り返り	
木曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-15:00	大学レクチャー(鬼形)	
	9:00-11:00	透折	15:00-16:30	病棟、救急外来	
	11:00-12:00	リハ回診、病棟	16:30-17:00	振り返り	
金曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-16:00	病棟、救急外来	
	9:00-	検査見学	16:00-17:00	振り返り(牧石)	
2週目	月曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-	訪問診療
		9:00-12:00	初診外来		病棟
	火曜日	8:45-	医局朝礼	13:30-	レクチャー
		9:00-11:00	病棟、家庭医療科外来		病棟
		11:00-12:00	リハ回診	16:00-17:00	英語医療面接レクチャーマルガリータ(ルド大)
	水曜日	8:45-	医局朝礼	13:30-14:00	病棟カンファレンス
		9:00-	家庭医療科外来	14:00-15:00	病棟
		検査見学	15:00-	振り返り	
木曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-15:00	大学レクチャー(牧石)	
	9:00-11:00	透折	15:00-16:30	病棟、救急外来	
	11:00-12:00	リハ回診、病棟	16:30-17:00	振り返り	
金曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-16:00	病棟、救急外来	
	9:00-	家庭医療科外来	16:00-17:00	振り返り(牧石)	
3週目	月曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-	訪問診療
		9:00-12:00	初診外来		病棟
	火曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-15:00	家庭医レクチャー(出雲市民、高橋)
		9:00-11:00	病棟、家庭医療科外来	15:00-16:30	病棟
		11:00-12:00	リハ回診	16:30-17:00	振り返り
	水曜日	8:45-	医局朝礼	13:30-14:00	病棟カンファレンス
		9:00-11:00	家庭医療科外来	14:00-15:00	病棟
11:00-12:00		リハ回診	15:00-	振り返り	
木曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-15:00	レクチャー	
	9:00-11:00	透折	15:00-16:30	救急外来	
	11:00-12:00	リハ回診、病棟	16:30-17:00	振り返り	
金曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-16:00	病棟、救急外来	
	9:00-	検査見学	16:00-17:00	振り返り(牧石)	
4週目	月曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-	訪問診療
		9:00-12:00	初診外来		病棟
	火曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-15:00	家庭医レクチャー(浜田、佐藤)
		9:00-11:00	病棟、家庭医療科外来	15:00-16:30	病棟
		11:00-12:00	リハ回診	16:30-17:00	振り返り
	水曜日	8:45-	医局朝礼	13:30-14:00	病棟カンファレンス
		9:00-	家庭医療科外来	14:00-15:00	病棟
		検査見学	15:00-	振り返り	
木曜日	8:45-	医局朝礼	14:00-16:30	病棟、救急外来	
	9:00-11:00	透折			
	11:00-12:00	リハ回診、病棟	16:30-17:00	振り返り	
金曜日	8:45-	医局朝礼	13:00-	実習まとめの時間	
	9:00-	家庭医療科外来	16:00-17:00	最終振り返り	

※毎週水曜日は放課後に家庭医療セミナー(オンライン)の開催あり、自由参加

■実習場所

出雲市民病院

■実習内容

1.教育目標

本実習のアウトカムは以下の通りである。

- 総合診療・家庭医療について理解を深める。
- common-diseaseの診断治療について理解を深める。
- 基本的な身体診察を実施できる。
- 基本的な臨床推論が実践でき、診断治療のプランを指導医と共に作成できる。
- Bio-Psycho-Socialモデルを踏まえたケアの調整と多職種連携・多職種協働について理解を深める。
- 地域における医療介護福祉サービスと連携について理解を深める。

学習者は本実習を通して総合診療・家庭医療についての理解を深める事を中心目標とする。

当院家庭医療科では、日常的な健康問題の専門家としてcommon-diseaseの診療に従事し、家庭医療学の理論を踏まえた医療を外来、病棟、訪問診療において実践している。

外来では高血圧、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病、心不全、腎不全といった慢性臓器障害、内科疾患以外の臓器障害、メンタルヘルス関連疾患、老年期健康問題、などの長期管理、診断が付いていない状態での体調不良、健診後受診などの対応も行っている。病棟では肺炎、尿路感染症、急性心不全などの急性疾患、食思不振、老衰など老年期障害、への対応、身体機能低下に対するリハビリテーションを中心的に実践している。その中で、単に疾患の治療に留まらず患者の生活、身体機能、家族、社会背景などの理解を行い、背景に含まれる課題の理解と解決を多職種と協働して行っている。

そして上記の実践は、生物医学的アプローチの知識技術に留まらず家庭医療学の理論や各種ノンテクニカルスキルを駆使して行われている。

学習者は指導医と共に診療に従事する事により、総合診療・家庭医療の実践の中から総合診療・家庭医療を理解していく。そして学習者自身の言葉で、総合診療・家庭医療を説明できる事を実習終了時の目標とする。また、指導医と共に診療に従事する事により、common-diseaseの診断治療について理解、基本的な身体診察の実施、基本的な臨床推論の実践と診断治療プランの作成ができることを付随する目標とする。これらは実践の中から到達可能と考える。

2.教育方略

2.1.基本方針

- ・実習期間は1名につき4週間。
- ・学習者も医療チームの一員とし、診療の遂行に対して補助的役割を担う。
- ・実践と振り返りを主体とした教育を方針とする。

2.2.教育コンテンツ

当院の実習における教育コンテンツとして、初診外来・救急外来、病棟診療、訪問診療、家庭医療科外来、透析、リハビリテーション回診、検査見学、レクチャー、振り返り、学習課題を用意している。

2.2.1.【初診外来・救急外来】

- ・指導医の指導の下、初診外来・救急外来において患者診療を実施する。
- ・問診、身体診察を行い、検査・治療計画を立案し指導医とディスカッションを行う。
- ・検査実施において患者移送を手伝い検査に同席し、患者・家族への配慮を行う。
- ・実施する診療範囲は、各学習者と指導医の相談の上で決定する。
- ・診療した患者が入院となる場合、病棟診療においても担当する。

2.2.2.【病棟診療】

- ・1名以上の入院患者を指導医のもと担当する。担当患者数は学習者の力量や状況に応じて設定する。
- ・毎朝担当患者の元へ赴き、状態の確認や診察を行う。積極的に病棟受け持ち看護師、介護士、リハスタッフ（セラピスト）、医療相談員（MSW）にもコミュニケーションを取り、患者の状況について情報を得る。
- ・患者の毎朝の状態については昼までに主治医である指導医へ報告する。正確な状態把握と報告を主治医へ行う事は医療チームの一員として重要な役割である。
- ・病状説明や院外の医療介護スタッフとのカンファレンスに同席する。
- ・実習終了までに担当患者診療シートを記載する。

2.2.3.【訪問診療】

- ・訪問診療に同行し見学、必要に応じて診療介助を行う。
- ・患者自宅や種々の施設への訪問を行う中で、自宅生活や施設に関する理解を深める。
- ・病院医療とは異なるフィールドにおいて、訪問診療の文化について理解を深める。

2.2.4.【家庭医療科外来】

- ・家庭医療科予約外来における診療を見学，必要に応じて診療介助を行う。
- ・家庭医による継続診療，内科疾患に関わらないcommon-diseaseの診療，生活への視点と支援，家族・心理社会背景も含めた対応について学ぶ。
- ・家庭医によるコミュニケーションの取り方を学ぶ。
- ・見学だけではなく，適宜指導医の下で診療を体験する。

2.2.5.【透析】

- ・透析のフィールドにおいて学習を行う。
- ・透析医療について基本知識を得るだけでなく，透析患者回診を通して心音の聴取を行い，心雑音聴取の理解を深める。

2.2.6.【リハビリテーション回診】

- ・当院では，リハビリテーション科医師，セラピスト(PT, OT, ST)，管理栄養士によるチームが新規入院患者を全例回診している。その回診ではADL，嚥下機能，食事形態，内服薬剤剤形などの評価，高齢者総合機能評価を実施している。
- ・リハビリテーション回診に同行し，リハビリテーション初期評価，退院後の生活を意識した介入プランについて理解を深める。

2.2.7.【検査見学】

- ・エコー
- ・上部消化管内視鏡
- ・放射線科(CT等)

2.2.8.【レクチャー】

- ・BPSモデル
- ・総合診療とは
- ・感染症ケーススタディ
- ・脳卒中
- ・全体オンラインレクチャー：大学主催で配信されるオンラインレクチャー。毎週1回定時で総合診療実習中の学生全員が受講する。
- ・ミニレクチャー(適宜実施)

2.2.9.【振り返り】

当院の臨床実習では振り返りを重視している。振り返りを行う事で，実習で得られた経験を「やりっぱなし」で終わらせず，自己の内面も含めて省察し確実な成長へつなげる事を目的としている。それぞれ振り返りフォーマットを用いて記載し，指導医・担当事務職員と共に振り返りを行う。

- ・1日の振り返り：経験内容，学んだ事，自分の気持ちの変化の3点を記載し，プレゼンする。振り返り内容に対するフィードバックを指導医・担当事務職員より受ける。
- ・1週間の振り返り：出来たこと，出来なかったこと，今の気持ち・感情，今後の課題，の4点について記載し，プレゼンする。1日の振り返りと同様に指導医・担当事務職員よりフィードバックを受ける。
- ・最終日の振り返り：当院での実習全体を通して，自身が成長した事を3つ挙げ，詳細を記載する。

2.2.10.【学習課題】

- ・振り返りの記載：所定のGoogleフォームに記載する。
- ・1日の振り返り
- ・1週間の振り返り
- ・担当患者診療レポートの記載：所定の診療レポートフォーマットを用いて記載する。
- ・家庭医療に関するレポート：所定のGoogleフォームに記載する。
- ・実習プログラム評価：所定のGoogleフォームに記載する。

3.教育評価

3.1.学習者評価

3.1.1.学習者自己評価

- ・毎日，実習の終わりに所定の振り返りシートに記入する事で自己評価を行う。
- ・事象として現れている表面的な振り返りに留まらず，自己の心理背景・内面の変化についても省察を行う事が望ましい。

3.1.2.形成的評価

- ・指導医，実習担当事務より形成的評価を行う。実習中に適宜行うフィードバック，毎日の振り返り時に行うフィードバックが該当する。

3.1.3.総括的評価

- ・実習への取り組み具合, 日々の振り返り, 提出された課題を元に実習終了時に総括的評価を行う.
- ・評価者はプログラム正副責任者の2名.

3.2.教育プログラム評価

- ・実習の最終日に, 学習者より当実習に対する評価を提出する. 評価内容は, 出雲市民病院の医療について, 実習内容について, 指導医について, の3項目. 加えて, 後輩に勧めるポイントについて所定のフォーマットに記入し提出する.
- ・実習提供者は, 学習者からの評価を真摯に受け止め実習改善に活用する.

■初日集合場所・時間

- ・8:30に出雲市民病院一階受付
- ・二日目以降のスケジュールは初日にお知らせします

■連絡先

TEL:0853-21-2722

メールアドレス:igakusei@izumo-hp.com

■病院紹介

出雲市民病院



病院長	小松 泰介
住所・連絡先	〒693-0021 島根県出雲市塩冶町1536-1 TEL 0853-21-2722 FAX 0853-21-8101

■概要

診療科 内科, 消化器内科, 循環器内科, 神経内科, 腎臓内科, 整形外科,
リハビリテーション科, 放射線科, 麻酔科, 耳鼻科, 眼科, 泌尿器科

医師数 15名

病床数 180床

連携病院 出雲市民リハビリテーション病院, 大曲診療所,
在宅支援センター(居宅介護支援事業所, 出雲訪問看護ステーション, 有償ボランティア虹)

特色・理念 当院は出雲市の中心部にある病床数180床の小規模病院です。近年は医療機関の機能分担が進んでいますが、当院は出雲医療圏において、主に急性期の一部から亜急性期（回復期）の医療を担っています。「地域密着型病院」と言っても良いかと思いますが、いわゆるcommon diseaseへの外来・入院対応を中心に、保健予防活動や地域住民の健康づくりの活動に至るまで、地域の健康問題に幅広く対応しています。
今、急速な高齢化の進行とともにmulti-morbidity患者（複数の慢性疾患に罹患した患者）が増加し、その対応が大きな問題として注目されています。また患者さんは身体的問題だけではなく、様々な家族・社会的背景を抱えて私たちの目の前に訪れます。そこでは、総合的・包括的かつ継続的な対応が必要となり、さらには「患者中心の医療」の実践が重要となります。まさに総合診療医・家庭医の面目躍如たるフィールドであると思います。医学生の皆さんには、当院での実習を経て、急性期大規模病院とはまた一味違う医療現場の有り様を経験していただければ、と思います。

■設備

CT装置・超音波診断装置・電子内視鏡・人工透析装置等
学生用の部屋を用意（学生用デスク・PC(インターネット可)あり）

■メッセージ

当院では、これまでも臨床実習を約10年に渡り受け入れていました。家庭医療・総合診療の実習指導に関する蓄積があり、医学教育学の理論を活用した学習者中心の実習プログラムのノウハウを最大限に活用しての実習指導を行っています。当院の実習は、家庭医療・総合診療の理論と実践を体感できる内容であり、毎日行う指導医との振り返りを通して学習者の成長を促しています。家庭医療に興味のある方の参加をぜひお待ちしております。

出雲市民病院家庭医療科 高橋賢史